

「青少年安心・安全ネット利用促進セミナー」を開催 ～ 違法・有害情報対策の取組とフィルタリングの設定方法を学ぶ ～

総務省北陸総合通信局（局長 濱島 秀夫）は、平成30年3月1日（木）、金沢広坂合同庁舎において、北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）との共催により、「青少年安心・安全ネット利用促進セミナー」を開催し、地方公共団体、教育委員会、警察、PTA、消費者団体、学校関係者、消費者センター、通信事業者等から約50名が参加しました。

【セミナーの様相】

冒頭、濱島局長が「違法・有害情報との接触から生じるリスクを保護者が正しく認識した上で、フィルタリングサービスを利用し、適切な設定を行うことが重要」と挨拶しました。



各講師からは、フィルタリングの利用促進やインターネットリテラシーの向上に関する電気通信事業者の取組、サイバーパトロール支援等における研究者の取組、そして、スマートフォンの「フィルタリングの内容と設定方法」について具体例が紹介されました。

【講演する講師の方々】



仁愛大学 人間学部
コミュニケーション学科
博士 安彦 智史 氏



(一社) 電気通信事業者協会
青少年有害情報対策部会
部会長 佐治 健史 氏

コーディネーターの富山大学名誉教授 山西 潤一 氏には、セミナーの進行に加え、各講演の要約、参加者の理解を深める質疑、ネット社会の直面する問題に関して、「フィルタリング等の技術」、「法改正のねらい」、「キーワード『自己の尊厳、他者への尊厳』など教育の現状と将来」等について、解説や助言をいただきました。



挨拶する 濱島 秀夫 局長

この他、石川県健康福祉部少子対策監室子ども政策課子ども健全育成グループ 勝田 幸治 氏から、青少年インターネット環境整備法改正に伴ういしかわ子ども総合条例の改正について説明がありました。

最後に、山西氏がセミナーを総括し「技術の進歩は早いですが、子供たちのために、みんなで知恵を出しながら考えていきましょう」と締めくくりました。

セミナー参加者からは、「子供たちが様々なアプリを利用している実態を知ることができた、子供たちにも伝えたい。」と感想の声がありました。



セミナーを総括する
コーディネーター
富山大学名誉教授
山西 潤一 氏



デジタルアーツ（株）経営企画部経営企画課 政策
担当課長チーフエバンジェリスト 工藤 陽介 氏

お問い合わせ先：情報通信部電気通信事業課 076-233-4422